

文書館 ニュース

山口県文書館

Yamaguchi Prefectural Archives

No.44

CONTENTS

| | | |
|-------------------------|-----|--------------------|
| ■ 開館50周年記念行事 | 1~3 | ■ 山口県指定有形文化財(歴史資料) |
| ■ トピックス2009 | 4 | 吉田松陰関係資料(吉田家伝来) |
| ■ 平成21年度の新収諸家文書を紹介します!! | 4 | 5~6 |

【ギャラリートーク】

◎6月6日 10:00
6月7日 10:30／15:30
専門研究員による展示解説。
毎回大好評でした。



【文書館を使ってみよう!】

◎6月2日 15:00～16:30
専門研究員が文書館の利用方法をガイド。



【アーカイブズ歴史小話】

◎6月5日 14:00～16:00
専門研究員6名がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介。



【アーカイブズ展示】

天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-

◎6月2日～6月9日

信長・秀吉・家康の三人の天下人と毛利氏との関わりを示す文書を展示。



【特別シンポジウム】

「関ヶ原シンポジウム-西軍大名の江戸時代-」

◎6月6日 13:00～17:00

3人のパネリストを迎え、関ヶ原の戦いに敗れた西軍大名のその後の生き方を探りました。会場は超満員の大盛況。



二井関成県知事挨拶

基調講演



パネルディスカッション:コーディネーターとパネリストの方々

第4回
中国四国地区アーカイブズウィーク

◎6月2日(火)～9日(火)

山口県文書館は、平成二十一年四月に開館五〇周年を迎えました。これを記念し、当館の役割をより多くの方に知っていただくため、年間を通して様々な行事を写真で振りかえってみます。

アーカイブズ展示
開館50周年記念行事

【「国際アーカイブズの日」記念講演会】

◎6月9日
全国公文書館長会議(6月10日)に先立ち、「国際アーカイブズの日」記念講演会を開催。公文書管理法に関する講演が行われました。



【絵図を片手に街を歩こう】

◎10月4日(下関市)
◎10月17日(山口市)
◎10月25日(周防大島町)
◎10月31日(周南市)

館蔵の江戸時代の絵図を片手に4会場で開催。



その他の行事

【特別アーカイブズ展示】

◎10月24日～11月1日

吉田松陰没後150年を記念し、「自贊肖像」と「絶筆」を特別公開。



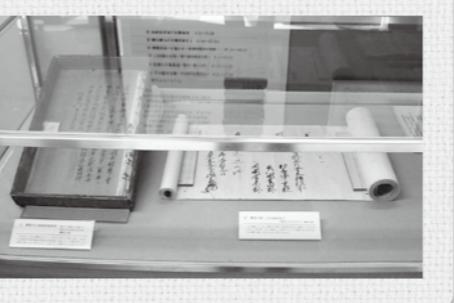
【中国・四国地区文書館等職員連絡会議】

◎12月3日～4日
中国・四国地区的文書館等職員が集まり、各機関が抱える諸課題について意見交換。



【シリーズ アーカイブズを守る】

年間を通じ、大内時代から現代まで、6つのテーマで、山口県の文書保存の歴史を紹介。



【隠れたアーカイブズたち】

-軸物類アーカイブズ展-

◎5月1日～6月28日

軸物類のうち、親しみやすい絵画にスポットを当てて紹介。



【山口県文書館50年のあゆみ展】

◎5月1日～6月28日、10月31日～12月27日
文書館50年の歴史をパネルで紹介。



【幕末維新アーカイブズ展】

◎10月31日～12月27日

館蔵の幕末維新関係アーカイブズを紹介。



【国指定重要文化財 大内版法華経板木展】

◎10月31日～12月27日

大内文化の貴重な遺品、法華経板木59枚を公開。



第四回中国四国地区アーカイブズウイーク

「天下人と毛利氏 —戦国のアーカイブズ—」



また、毛利氏との関わりを示す文書五点を展示了。

(吉田)

アーカイブズ展示では、戦国の動乱を鎮めた天下人、信長・秀吉・家康の三人と、毛利氏との関わりを示す文書五点を展示了。

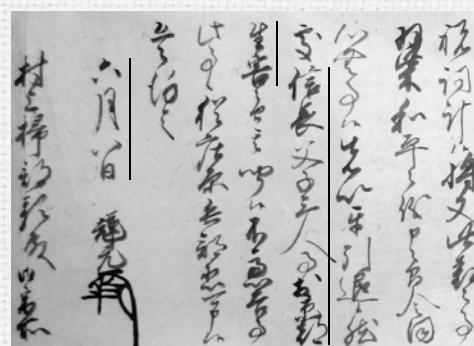
また今回は、例年の歴史探究講座を開館五〇周年の特別版として、特別シンポジウム「関ヶ原シンポジウム—西軍大名の江戸時代—」を開催しました。

パネリストとして、米沢市上杉博物館学芸員阿部哲人氏・九州大学教授中野等氏・山口大学教授田中誠二氏を迎えて、関ヶ原の戦いで西軍として戦った、米沢藩上杉家・柳川藩立花家・萩藩毛利家が、いかに逆境を乗り越えて生き抜いていったのか、その工夫と知恵について御講演いただきました。

ウイーク期間中、延べ一、五七三名の参加者を数え、盛況のうちに終えることができました。

平成二十一年六月二日（火）から九日（火）まで、第四回中国四国地区アーカイブズウイークを開催しました。

アーカイブズ展示では、戦国の動乱を鎮めた天下人、信長・秀吉・家康の三人と、毛利氏との関わりを示す文書五点を展示了。



「本能寺の変」から6日目の輝元書状(村上家文書)

十月に、県下四会場で「絵図を片手に街を歩こう」を実施しました。各会場とも、好天の秋空のもと県内各地から延べ一四五人の参加者があり、講師の熱のこもった解説により、地域の歴史と魅力を再発見することができました。

(山本)

「絵図を片手に街を歩こう」

■ 山口市会場

「萩往還と石州街道を歩く」
(10月17日)



■ 下関市会場

「赤間関街道と田部市を歩く」
(10月4日)



■ 周南市会場

「山代街道と清流の里・鹿野を歩く」
(10月31日)



■ 周防大島町会場

「周防大島の古道再発見」
(10月25日)



「貴重な体験で少し興奮しました。受験が終わったらぜひ行ってみたいと思いません」

といった声が多数寄せられました。

「貴重な体験で少し興奮しました。受験が終わったらぜひ行ってみたいと思いません」

「生の文書が見られてよかったです」

「文書館には一回も行ったことがなかたけれど、何をするところかよくわかった」

「文書館の活動を紹介するとともに、徳川吉宗など、生徒の皆さんもよく知っている歴史上の人や、物に関する文書を見ていただきながら、専門研究員がわかりやすく解説しました。

見学後のアンケートでは、

立山口高校の三年生四〇名が引率の先生とともに来館されました。当館では、学校教育支援の一つとして、児童・生徒の訪問を受け入れています。

TOPICS トピックス 2009



◆ 河北家文書

河北家は、戦国時代に毛利氏の家臣となり、江戸時代には萩藩の大組に属しました。文書は、武家としての活動に関わるもので構成されています。天正四年（一五七六）の毛利輝元安堵状のほか、江戸時代の長府毛利家その他諸大名の書状なども含まれています。

（山崎）

◆ 松永家文書

幕末～明治に活躍した萩藩医松永周甫は、鋳銭司村南原（現山口市鋳銭司）に薬園を開くとともに、南原の緑地化に尽力し、山口県砂防工事の先駆けとなる業績を残しています。周甫の活動は、松永家文書でよく跡づけることができます。

平成二十一年度一〇家、「一四七点の諸家文書の閲覧を開始しました。その中から三つの文書群を紹介します。

平成二十一年度の新収 諸家文書を紹介します!!



| No. | 文書名 | 点数 | 主な文書の年代 | 文書群の特徴(関連地域、個人、家の歴史、就任役職等) |
|-----|-------------|-----|---------|--|
| 1 | 石井丈若撮影写真 | 11 | 現代 | 旧街道写真(山陽道・石州街道・赤間関街道) |
| 2 | 上田家文書 | 69 | 近世～近代 | 防府市台道／大庄屋／幕末期諸隊関係 |
| 3 | 河北家文書 | 155 | 中世～現代 | 毛利家家臣／萩藩士(大組) |
| 4 | 佐伯隆収集史料 | 19 | 近世～近代 | 収集史料／佐々木家文書(畔頭)・世良家文書(土地売買証文)・光井家文書(大内氏・毛利氏家臣) |
| 5 | 佐川家文書(追加) | 11 | 近世 | 平生町佐合島／畔頭ほか |
| 6 | 藤津家文書 | 196 | 幕末～昭和 | 山口市小郡／材木業 |
| 7 | 亦野家文書 | 16 | 近代 | 山口市／辞令書・種痘証・朝鮮牛飼育関係 |
| 8 | 松永家文書 | 82 | 近世～現代 | 山口市鋳銭司／萩藩医／本草学者 |
| 9 | 松原家文書 | 560 | 中世～近代 | 山代地方(岩国市北部)／山代地侍／山代三老／萩藩士(無給通) |
| 10 | 松元淳収集史料(追加) | 28 | 近世～近代 | 収集史料 |

吉田松陰関係資料

(吉田家伝来)

当館所蔵の「吉田松陰関係資料」754点が、平成21年11月17日付けで、

山口県指定有形文化財(歴史資料)に指定されました。

本資料は、松陰が継いだ吉田家に伝來したもので、

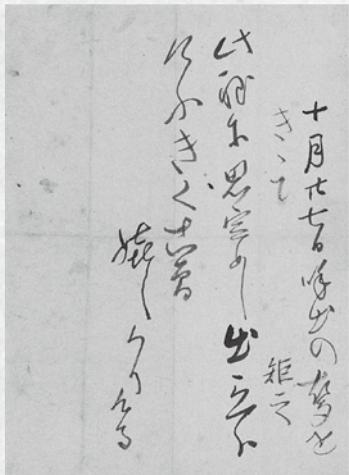
松陰の行動や思想を知る上で最も基本的な資料が揃っています。

その中から代表的な資料を紹介してみましょう。

吉田松陰絶筆

安政6年10月27日 1幅 吉田松陰関係資料171-1

安政6年(1859)10月27日、松陰は江戸伝馬町の刑場で処刑された。呼び出しの声を聞いて、懐紙に最期の一首を書いたもの。「十月廿七日 呼出の声をきて 矩之」「此程に思定めし出立かけふきくこそ嬉しかりける」。第4句の字数が足りないことに気づいたが、推敲する時間がなく、「く」の側に「」を打ったまま筆を置かざるを得なかったとされる。定本版『吉田松陰全集』第4巻所収。

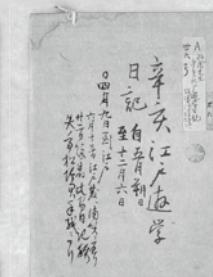
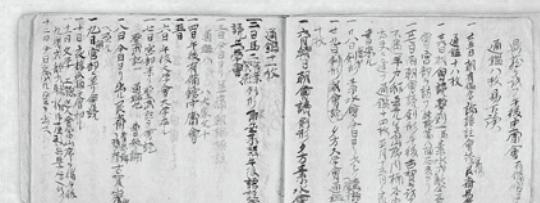


辛亥江戸遊学日記

嘉永4年5月朔日～12月6日 1冊 吉田松陰関係資料36

嘉永4年(1851)4月、吉田松陰は初めて江戸に出て、勉学修行に励んだ。その江戸での動静がこまめに記されている。末尾に高杉晋作の自筆で「此先生辛亥東都着後之日記、先生邸ニ抵四月五日也、因是可知 門人高杉晋作閲了」と書き込みがある。

江戸では安積良齋、山鹿素水、佐久間象山らに従学し、知見を深めた。この年の12月、藩からの過書手形交付を待たず宮部鼎藏らと東北遊歴に出発し、帰国後、罪に問われることとなった。定本版『吉田松陰全集』第7巻所収。



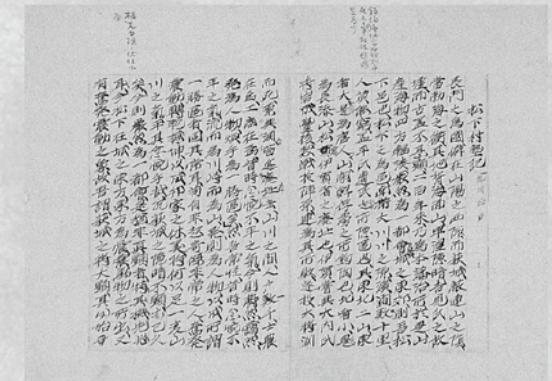
背景写真:絹本着色吉田松陰肖像(自賛) 吉田松陰関係資料164

松下村塾記

安政3年9月5日 1幅 吉田松陰関係資料94

松下村塾は、松陰の叔父玉木文之進が始めた私塾。外叔久保五郎左衛門、そして松陰へと引き継がれた。

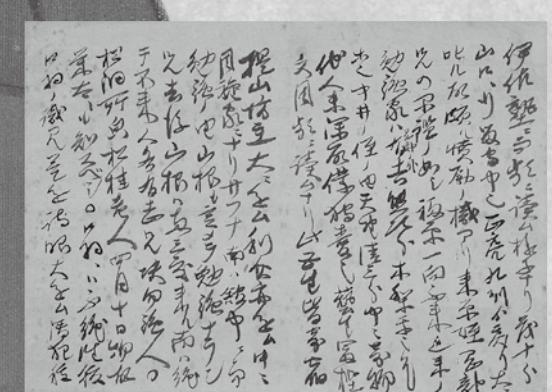
本書は、松陰が松下村塾における自らの教育に対する信念と抱負を示したもの。友人土屋蕭海による朱筆の批評が加えられている。定本版『吉田松陰全集』第3巻所収。



吉田松陰書状 久坂玄瑞宛

安政5年6月19日 1幅 吉田松陰関係資料124

久坂玄瑞は、高杉晋作と共に松下村塾の双璧と称され、松陰は久坂を「防長年少第一流の人物、よりて又天下の英才」と讃えた。本書状は、江戸遊学中の久坂に松下村塾生の勉学が盛んな状況を知らせたもの。文中、門下生の批評があり、天野清三郎(渡辺嵩藏)は「中々奇物、他人未深取、僕独愛之」、伊藤博文(利介)は「利介亦進ム、中々周旋家ニナリサフナ」と記している。定本版『吉田松陰全集』第6巻所収。



開館50周年記念

山口県文書館所蔵アーカイブズガイド

幕末維新編

山口県文書館所蔵の幕末維新関係文書を、図版と解説でわかりやすく紹介したアーカイブズガイドです。

「文書で見る長州藩幕末維新史」としてどうなたでも楽しめます。



見る。

豊富な図版を掲載。誌上初公開の図版も多数! [図版]

読む。

毛利家文庫・徳山毛利家文庫など主要文書群の内容を詳しく解説。[文書群解説]

調べる。

長州藩幕末維新史研究に役立つ基本史料を紹介。[特論]

編集・発行 山口県文書館

発行年月 平成22年3月

規格 B4版変形 表紙カラー 本文・図版モノクロ 132頁

◎本書の購入に関しては、山口県刊行物センター(〒753-8501 山口県山口市瀧町1番1号 TEL083-933-2593 FAX083-923-9139)へお問い合わせください。



山口県文書館

〒753-0083 山口県山口市後河原150-1
TEL083-924-2116 FAX083-924-2117 <http://ymonjo.ysn21.jp/>

利用時間

【開館時間】火曜日～日曜日 9:00～17:00

【閉館日】月曜日、祝日、月末整理日、月曜日が祝日の場合は翌火曜日
年末年始(12月29日～1月3日)

春秋資料整理期間(5月25日～31日、11月16日～25日)

※文書館は山口県立山口図書館と同じ建物内にあります。

閲覧室へは2階へお上がりください。

※毎月の開・閉館日は、当館ホームページの閲覧室カレンダーをご覧ください。

[表紙写真]「織田信長朱印状」(朱印部分、村上家文書、山口県文書館蔵)